

事項	モンシロチョウ防除薬剤のオオモンシロチョウに対する薬剤感受性		
ねらい	平成8年に、本県に侵入飛来したオオモンシロチョウに対する登録農薬はない。そこで、モンシロチョウ防除薬剤のオオモンシロチョウに対する感受性を明らかにしたので、参考に供する。		
指導参考内容	<p>1 薬剤感受性が高い剤</p> <p>(1) 速効性</p> <p>ア 有機リン剤 アセフェート剤（オルトラン水和剤1,000倍） PAP剤（エルサン乳剤1,000倍）</p> <p>イ 合成ピレスロイド剤 エトフェンプロックス剤（トレボン乳剤1,000倍） シベルメトリン剤（アグロスリン水和剤1,000倍）</p> <p>ウ ネライストキシシン剤 カルタップ塩酸塩剤（パダン水和剤1,000倍）</p> <p>(2) 遅効性</p> <p>ア IGR剤 クロルフルアズロン剤（アタブロン乳剤2,000倍） ただし、クロルフルアズロン剤は終齢幼虫に対し感受性がやや劣る。</p> <p>イ BT剤 （トアロー水和剤 CT1,000倍）</p> <p>2 薬剤感受性が低い（年次変動の大きい）剤</p> <p>(1) クロロニコチニル剤 アセタミプリド剤（モスピラン水溶剤2,000倍）</p>		
期待される効果	防除指導上の参考となる。		
利用上の注意事項	なし		
担当	青森県農業試験場 環境部	対象地域	県下の発生地域
発表文献等	平成10～12年度 青森県農業試験場成績概要集、東北農業研究第51号 平成12年度 東北農業成果情報（予定）		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 オオモンシロチョウ4齢幼虫の死虫率の推移(平成10,12年 青森農試)

薬 剤 ・ 濃 度	年 度	処理後の死虫率(%)			
		1日後	2日後	3日後	4日後
アセフェート水和剤 1,000倍	平成10年	100			
	12年	100			
PAP乳剤 1,000倍	平成10年	100			
	12年	100			
エトフェンプロックス 1,000倍	平成10年	100			
	12年	100			
シベルメトリン水和剤 1,000倍	平成10年	100			
	12年	100			
カルタップ塩酸塩水溶剤 1,000倍	平成10年	3.3	100		
	12年	100			
クロルフルアズロン乳剤 2,000倍	平成10年	0	100		
	12年	0	20.0	100	
BT水和剤 1,000倍	平成10年	0	0	100	
	12年	71.4	95.0	100	
アセタミプリド水溶剤 2,000倍	平成10年	10.0	0	30.0	50.0
	12年	100			

表2 オオモンシロチョウ5齢幼虫の死虫率の推移

(平成10,12年 青森農試)

薬 剤 ・ 濃 度	年 度	処理後の死虫率(%)									
		1日後	2日後	3日後	4日後	5日後	6日後	7日後	8日後	10日後	
アセフェート水和剤 1,000倍	平成10年	100									
	11年	100									
PAP乳剤 1,000倍	平成10年	100									
	11年	100									
エトフェンプロックス乳剤 1,000倍	平成10年	100									
	11年	100									
シベルメトリン水和剤 1,000倍	平成10年	100									
	11年	100									
カルタップ塩酸塩水溶剤 1,000倍	平成10年	90.0	100								
	11年	100									
クロルフルアズロン乳剤 2,000倍	平成10年	3.3	0	16.7	33.3						
	11年	0	0	0	10.0	5.0	0	63.2	89.5	100	
BT水和剤 1,000倍	平成10年	90.0	89.3	87.5	100						
	11年	10.0	5.0	45.0	100						
アセタミプリド水溶剤 2,000倍	平成10年	53.3	89.3	95.8	95.8						
	11年	0	0	0	0	0	0	0	0	5.3	

注) 検定方法：食餌浸漬法  
死虫率には死虫、苦悶虫を含める